

平成 27 年度用小学校音楽

---

**指 導 計 画 案**

---

株式会社 教育芸術社

**【本資料について】**

- ・インターネット上で公開されている本資料は、弊社発行の平成 27 年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽」に基づいて作成されております。

**【本資料の扱い方について】**

- ・扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ・ここに掲載されている評価規準は、国立教育政策研究所が作成した「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料」を参考にして、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- ・本資料では、1 時間当たり 1～2 項目に精選して評価規準を示しています。学習指導要領との関連で示した項目がすべての評価項目に反映されていないことがあります。学習内容の中には反映されていますので、授業時数や1年間の評価計画に応じて、ご設定ください。

**【2 学期制への対応について】**

- ・本資料は 2 学期制、3 学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。なお、各題材の関連やくくりなどを確認するための題材の系統性につきましては、「6 年間の題材の系統一覧」をご覧ください。

題材名	1. 明るい歌声をひびかせよう (4～5月)	扱い時数の目安
		8時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハ長調の楽譜に親しみ、音程に気を付けて階名で視唱したり、視奏したりして、読譜に慣れる。</li> <li>●自然で無理のない歌い方に親しみ、友達と一緒に歌う楽しさを味わう。</li> </ul>	
題材の意図	<p>学習指導要領において、低学年ではリズム譜を見て演奏することが求められ、それ以外の楽譜を見て演奏することについては、範唱をまねて歌う模唱や、旋律を階名でまねて模唱したり暗唱したりする階名模唱や階名暗唱を中心に学習を重ねてきました。</p> <p>3年生からは、低学年で身に付けてきた音程感をさらに高めるとともに、ハ長調の楽譜を読み取って歌詞や階名で歌ったり楽器を演奏したりする視唱や視奏の活動を段階的に進めていくことになります。</p> <p>この題材では、共通教材の「茶つみ」を除いて、ハ長調でつくられた教材を取り上げています。新学期を迎え、新たな気持ちで音楽の授業に臨む子供たちの興味・関心を引き付けながら、明るい歌声で歌う学習を通して、楽譜を見て階名視唱や視奏をする活動に慣れ親しむことができるように進めていきたいと思います。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・イ・ウ・エ (2) 器楽ア・エ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) <b>音色</b>、<b>旋律</b>、<b>強弱</b>、<b>音階</b>、<b>拍の流れ</b>、<b>フレーズ</b></p> <p>イ ト音記号、五線と加線、縦線、終止線、ブレス</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①ハ長調の楽譜に興味・関心を持ち、視唱や視奏をする学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②発音の仕方に気を付けて、曲想にふさわしい自然で無理のない歌い方で歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①音の高さの違いや旋律を聴き取り、その特徴を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて自分の考えや願いをもっている。</p> <p>②歌に合う音を選び、試行錯誤しながら即興的に旋律をつくっている。</p>	<p>①ハ長調の楽譜を読み取り、音の高さの違いに気を付けながら階名で歌ったり演奏したりしている。</p> <p>②歌詞の内容や曲想にふさわしい表現で歌っている。</p> <p>③ハ長調の楽譜を読み取り、リズムに気を付けながら階名で歌っている。</p> <p>④ハ長調の楽譜を見て、ポジションに気を付けながら鍵盤楽器を演奏している。</p> <p>⑤伴奏や互いのパートを聴いて、拍の流れののって歌ったり演奏したりしている。</p> <p>⑥歌詞の内容や旋律、フレーズに気を付けながら曲想にふさわしい表現で歌っている。</p>	

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
音の高さに気をつけて、明るい声で歌いましょう。	ドレミで歌おう	1	●ハ長調の楽譜に興味をもつ。 ●楽譜を見ながら階名視唱する。  ●楽譜に親しみながら演奏を楽しむ。	◆ハ長調の楽譜に興味・関心もち、視唱や視奏をする学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 行動観察, 表情観察, 発言内容】 ◆ハ長調の楽譜を読み取り、音の高さの違いに気を付けながら階名で歌ったり演奏したりしている。 【技① 発言内容, 演奏聴取】
音の高さに気をつけて、明るい声で歌いましょう。階名でも歌ってみましょう。	◎春の小川	2  3	●歌詞の表す情景を思い浮かべ、曲の全体的な雰囲気を感じ取る。 ●楽曲全体の旋律の特徴に気付いて歌う。 ●発音の仕方や音の高さに気を付けて階名視唱する。  ●曲想や歌詞の内容にふさわしい表現の仕方を工夫する。  ●歌声に気を付けて歌う。	◆発音の仕方に気を付けて、曲想にふさわしい自然で無理のない歌い方で歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 演奏聴取, 発言内容】 ◆音の高さの違いや旋律を聴き取り、その特徴を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて自分の考えや願いをもっている。 【創① 発言内容, 行動観察, 演奏聴取】 ◆歌詞の内容や曲想にふさわしい表現で歌っている。 【技② 演奏聴取】
楽器といっしょに明るい声で歌いましょう。	海風きって ☆せんりつづくり	4  5  6	●アとイの旋律の特徴に気付いて歌う。 ●階名視唱し、鍵盤楽器で演奏する。  ●旋律づくりをする。  ●アとイの旋律を重ね、拍の流れにのって演奏を楽しむ。	◆ハ長調の楽譜を読み取り、リズムに気を付けながら階名で歌っている。 【技③ 教科書の書き込み内容, 演奏聴取】 ◆ハ長調の楽譜を見て、ポジションに気を付けながら鍵盤楽器を演奏している。 【技④ 演奏聴取】 ◆歌に合う音を選び、試行錯誤しながら即興的に旋律をつくっている。 【創② 旋律づくりの記述内容, 演奏聴取】 ◆伴奏や互いのパートを聴いて、拍の流れにのって歌ったり演奏したりしている。 【技⑤ 演奏聴取】
拍のながれにのって、明るくのびのびと歌いましょう。	◎茶つみ	7  8	●歌詞の表す情景を思い浮かべ、曲全体の雰囲気を感じ取る。 ●旋律の特徴に気付いて歌う。  ●手遊びの仕方を知り、拍の流れや曲想をつかむ。  ●拍の流れや旋律のまとまりに気を付け、手遊びをしながら歌う。 ●曲想にふさわしい表現を工夫して歌う。	◆発音の仕方に気を付けて、曲想にふさわしい自然で無理のない歌い方で歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 発言内容, 演奏観察】 ◆歌詞の内容や旋律、フレーズに気を付けながら曲想にふさわしい表現で歌っている。 【技⑥ 演奏聴取】

題材名	2. リコーダーとなかよしになろう (6～7月)	扱い時数の目安
		9時間
題材のねらい	●リコーダーに親しみながら、その音色を感じ取ったり、基本的な演奏の仕方を身に付けたりする。	
題材の意図	<p>前の題材から始まったハ長調の学習とともに、3年生の学習において重要な活動の一つであるリコーダーの学習が始まります。</p> <p>この題材ではその導入として、楽器の構え方や運指、息のつかい方などの基本的な演奏の仕方について、左手の運指のみで演奏できるシ、ラ、ソ、ド、レの五つの音を使った教材を用いながら、段階的に学習を進めていきます。</p> <p>指導に当たっては、子供たちと大小様々なリコーダーの写真が掲載されている教科書巻頭の「音楽リズム」をきっかけとして、リコーダー固有の美しい音色を味わえる鑑賞曲を取り上げたり、主な旋律の歌唱とリコーダーの副次的な旋律を組み合わせた「とどけよう このゆめを」といった教材を活用したりしながら、子供たちがリコーダーの演奏や音色にあこがれを抱き、興味・関心をもつことができるように工夫していきましょう。</p>	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
	A表現 (1) 歌唱エ (2) 器楽ア・ウ・エ B鑑賞 ア [共通事項] ア (ア) <b>音色</b> 、旋律、音の重なり、拍の流れ イ 付点2分音符、4分の4拍子、付点4分音符	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①リコーダーの音色や旋律の特徴などによって醸し出される曲想を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。  ②リコーダーの基本的な演奏の仕方を身に付け、音色に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。	①リコーダーの音色を聴き取り、その響きのよさを感じ取りながら、きれいな音色を求めて、タンギングや息の強さなど演奏の仕方を工夫している。  ②リコーダーの基本的な演奏の仕方を身に付け、音色に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。	①タンギングや息の強さに気を付けて、きれいな音色でリコーダーを演奏している。  ②友達の音を聴きながら、自分の音を合わせてリコーダーを演奏している。  ③友達の歌声を聴きながら、自分の音を合わせてリコーダーを演奏している。  ④滑らかなタンギングや息の強さに気を付けて、きれいな音色でリコーダーを演奏している。  ⑤3拍子の拍の流れにのり、友達の音を聴きながら、自分の音を合わせて重奏している。	①リコーダーの音色の美しさや旋律の変化を感じ取り、演奏のよさに気付けて聴いている。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
リコーダーに親しみましよう。	♪小鳥のために	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ソプラノ リコーダーの音色に興味をもつ。</li> <li>●リコーダーの基本的な演奏の仕方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆リコーダーの音色や旋律の特徴などによって醸し出される曲想を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。</li> <li>【関① 表情観察, 発言内容, ワークシート】</li> <li>◆リコーダーの基本的な演奏の仕方を身に付け, 音色に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</li> <li>【関② 行動観察, 発言内容】</li> </ul>
きれいな音でふきましよう。	ステップ1・2・3 小さな花	2  3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ステップ1」で, 息の強さとタンギングの仕方を身に付ける。</li> <li>●「ステップ2」で, 音色や運指に気を付けてシとラの音を吹く。</li> <li>●「ステップ3」で, 3音の運指を練習する。</li> <li>●これまでの学習を生かし, 曲想を工夫しながら「小さな花」を演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆リコーダーの音色を聴き取り, その響きのよさを感じ取りながら, きれいな音色を求めて, タンギングや息の強さなど演奏の仕方を工夫している。</li> <li>【創① 行動観察, 演奏聴取】</li> <li>◆タンギングや息の強さに気を付けて, きれいな音色でリコーダーを演奏している。</li> <li>【技① 行動観察, 演奏聴取】</li> </ul>
歌に合わせてリコーダーをふきましよう。	とどけよう このゆめを ♪きらきらぼし	4  5  6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「とどけよう このゆめを」の旋律の特徴に気付いて歌う。</li> <li>●後半の副次的な旋律を演奏する。</li> <li>●「きらきら星」を聴き, リコーダーの音色の変化を楽しむ。</li> <li>●「とどけよう このゆめを」の曲想の変化や, 歌声とリコーダーの音が重なり合う響きを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆友達のを聴きながら, 自分の音に合わせてリコーダーを演奏している。</li> <li>【技② 演奏聴取】</li> <li>◆リコーダーの音色の美しさや旋律の変化を感じ取り, 演奏のよさに気付いて聴いている。</li> <li>【鑑① 行動観察, ワークシート】</li> <li>◆友達の歌声を聴きながら, 自分の音に合わせてリコーダーを演奏している。</li> <li>【技③ 演奏聴取】</li> </ul>
タンギングと息の強さに気をつけながらふきましよう。	坂道 雨上がり かりかりわたれ そよ風	7  8  9	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「坂道」「雨上がり」をリコーダーで演奏する。</li> <li>●「かりかりわたれ」をリコーダーで演奏する。</li> <li>●「そよ風」をリコーダーで演奏する。</li> <li>●「そよ風」のリコーダー1とリコーダー2を重ねて演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆リコーダーの基本的な演奏の仕方を身に付け, 音色に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</li> <li>【関② 行動観察, 表情観察, 発言内容】</li> <li>◆リコーダーの音色を聴き取り, その響きのよさを感じ取りながら, きれいな音色を求めて, タンギングや息の強さなど演奏の仕方を工夫している。</li> <li>【創① 行動観察, 演奏聴取】</li> <li>◆滑らかなタンギングや息の強さに気を付けて, きれいな音色でリコーダーを演奏している。</li> <li>【技④ 演奏聴取】</li> <li>◆3拍子の拍の流れにのり, 友達のを聴きながら, 自分の音に合わせて重奏している。</li> <li>【技⑤ 演奏聴取】</li> </ul>

題材名	3. 拍のながれによってリズムをかんじとろう (9月)	扱い時数の目安
		6 時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●拍子やリズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れによって表現する。</li> <li>●反復や変化などの音楽の仕組みを生かして、まとまりのあるリズムをつくる。</li> </ul>	
題材の意図	<p>この題材では、低学年で身に付けてきた拍の流れやリズムに対する感覚、またそれらを表現するための能力をより伸ばしていくことに重点を置いて学習を進めていきます。</p> <p>拍の流れを感じ取りながら、音や気持ちを合わせて演奏する活動は、高学年に向けて、息の合った美しい合唱や合奏に取り組むうえで大切な基礎となるものです。</p> <p>リズムの特徴が異なるパートの合唱奏や、「三三七拍子」のリズムを基に、反復や変化を生かして音楽をつくる学習を通して、拍の流れやまとまりのあるリズムが生み出す面白さを感じ取りながら、基礎的な表現の能力を伸ばします。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・イ・ウ・エ (2) 器楽ア・イ・ウ・エ (3) 音楽づくりイ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色, <b>リズム</b>, 旋律, 音の重なり, <b>拍の流れ</b>, フレーズ</p> <p>(イ) <b>反復</b>, <b>問いと答え</b>, <b>変化</b></p> <p>イ 4分の2拍子</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①拍の流れによって歌ったり、旋律を演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②拍の流れを感じながら、音楽の仕組みを生かして、まとまりのあるリズムをつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③日本に古くから伝わるうたの曲想にふさわしい表現を工夫し、思いをもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①リズム、旋律、拍の流れを聴き取り、曲想を感じ取って、それにふさわしい楽器の演奏の工夫をしている。</p> <p>②リズムの反復や変化を聴き取り、拍の流れを感じながら4分音符と8分音符の組合せを工夫し、反復と変化を生かしたまとまりのあるリズムをつくることに思いや意図をもっている。</p>	<p>①楽器の音色に気を付けて旋律楽器を演奏している。</p> <p>②友達の楽器の音やほかのパートの旋律を聴きながら、自分の音を合わせて合奏している。</p> <p>③反復や変化を生かし、まとまりのあるリズムをつくって手拍子で演奏している。</p> <p>④曲想にふさわしい自然で無理のない歌い方で歌っている。</p>	

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲のかんじを生かしてえん そうしましょう。	ゆかいな木きん	1  2  3	<p>●拍の流れを感じ取りながら歌ったり演奏したりする。</p> <p>●問いと答えの音楽の仕組みを感じ取って、主な旋律を演奏する。</p> <p>●各パートのリズムの違いを感じ取って、演奏の仕方を工夫する。</p> <p>●互いの音を聴き合いながら、拍の流れによって演奏を楽しむ。</p>	<p>◆拍の流れによって歌ったり、旋律を演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 行動観察, 演奏聴取】</p> <p>◆楽器の音色に気を付けて旋律楽器を演奏している。 【技① 演奏聴取】</p> <p>◆リズム、旋律、拍の流れを聴き取り、曲想を感じ取って、それにふさわしい楽器の演奏の仕方を工夫している。 【創① 発言内容, ワークシート, 演奏聴取】</p> <p>◆友達楽器の音やほかのパートの旋律を聴きながら、自分の音を合わせて合奏している。 【技② 演奏聴取】</p>
くりかえしや変化を使って、 まとまりのあるリズムをつくりましょ う。	☆手拍子でリズム	4  5	<p>●まとまりのあるリズムの仕組みに気付く。</p> <p>●まとまりのあるリズムの仕組みを使って、4小節のリズムをつくる。</p> <p>●グループのリズムの音楽をつくる。</p>	<p>◆拍の流れを感じながら、音楽の仕組みを生かして、まとまりのあるリズムをつくる学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 発言内容, 行動観察】</p> <p>◆リズムの反復や変化を聴き取り、拍の流れを感じながら4分音符と8分音符の組合せを工夫し、反復と変化を生かしたまとまりのあるリズムをつくることに思いや意図をもっている。 【創② 発言内容, ワークシート, 演奏聴取】</p> <p>◆反復や変化を生かし、まとまりのあるリズムをつくって手拍子で演奏している。 【技③ 演奏聴取】</p>
日本に古くからつたわる歌 のふんいきをかんじとりな がら歌いましょう。	◎うさぎ	6	<p>●歌詞や範唱から、曲想をつかんで歌う。</p> <p>●曲想にふさわしい歌い方で歌う。</p>	<p>◆日本に古くから伝わるうたの曲想にふさわしい表現を工夫し、思いをもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 発言内容, 表情観察, 行動観察】</p> <p>◆曲想にふさわしい自然で無理のない歌い方で歌っている。 【技④ 演奏聴取】</p>

題材名	4. せんりつのとくちょうをかんじとろう (10~11月)	扱い時数の目安
		9時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●旋律の特徴を感じ取りながら、曲想とその変化を感じ取って聴いたり、楽曲を聴いて感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いたりする。</li> <li>●旋律の特徴を生かして、曲想にふさわしい表現を工夫しながら、思いや意図をもって歌ったり演奏したりする。</li> </ul>	
題材の意図	<p>この題材では、音楽を特徴付けている要素の一つである旋律に着目し、その特徴を感じ取ったり、その特徴によって生み出される曲想をとらえたりしながら、表現と鑑賞の活動を進めていきます。また、それらを生かして、自分の思いや意図をもって表現する能力を伸ばす学習も進めます。</p> <p>低学年から育ててきた音楽に対する感性を高めながら、中学年ではより具体的に旋律の音の上がり下がりやリズムに注目して曲想を感じ取り、それにふさわしい表情豊かな表現の仕方を工夫していきます。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・イ・ウ・エ (2) 器楽ア・イ・ウ・エ</p> <p>B鑑賞 ア・イ・ウ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色, リズム, <b>旋律</b>, 音の重なり, 拍の流れ, <b>フレーズ</b></p> <p>(イ) 反復, 変化</p> <p>イ 4分の3拍子, タイ</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①旋律の特徴が生み出す曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌ったり演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②旋律の特徴を感じ取り、楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③歌詞の内容、旋律の特徴などが生み出す曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①旋律やリズムの特徴を聴き取り、それらの違いを感じ取って、楽器の演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもってしている。</p> <p>②旋律の特徴を聴き取り、旋律とリズムのかかわりや曲の山を感じ取って、表現の仕方を工夫し、どのように歌うかについて自分の思いや意図をもってしている。</p>	<p>①歌詞の内容、旋律の特徴などが生み出す曲想にふさわしい表現で歌っている。</p> <p>②3拍子の拍の流れにのり、旋律の特徴やその違いを生かして、リコーダーを演奏している。</p> <p>③範奏を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして、リコーダーを演奏している。</p> <p>④アとイの旋律の特徴やその違いを生かして、リコーダーを演奏している。</p> <p>⑤曲の山を生かし、歌詞の内容、旋律の特徴などが生み出す曲想にふさわしい表現で歌っている。</p>	<p>①旋律の音の上がり下がりがリズムが生み出す曲想の違いに気を付けて聴いている。</p> <p>②楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取り、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつの音の上がり下がりに気をつけてえんそうしましょう。	あの雲のように	1   2	●旋律の音の上がり下がりを感じ取りながら歌う。  ●主な旋律の音の上がり下がりを感じ取りながら、曲想に合う歌い方で歌う。  ●主な旋律の音の上がり下がりを感じ取りながら、旋律の特徴を生かして演奏を工夫する。  ●3拍子の拍の流れにのり、旋律の特徴を生かして演奏する。	◆旋律の特徴が生み出す曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌ったり演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 発言内容、演奏観察】 ◆歌詞の内容、旋律の特徴などが生み出す曲想にふさわしい表現で歌っている。 【技① 演奏聴取】  ◆旋律やリズムの特徴を聴き取り、それらの違いを感じ取って、楽器の演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【創① 発言内容、演奏聴取】 ◆3拍子の拍の流れにのり、旋律の特徴やその違いを生かして、リコーダーを演奏している。 【技② 演奏聴取】
せんりつの音の上がり下がりやリズムに気をつけてききましょう。	♪メヌエット	3   4	●旋律の特徴を感じ取って聴く。  ●旋律の音の上がり下がりやリズムに気を付けて聴く。  ●バイオリンの音色や楽曲全体を味わって聴く。	◆旋律の特徴を感じ取り、楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 発言内容、行動観察、表情観察】 ◆旋律の音の上がり下がりやリズムが生み出す曲想の違いに気を付けて聴いている。 【鑑① 発言内容、ワークシート】  ◆楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取り、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。 【鑑② 発言内容、行動観察、ワークシート】
せんりつのとくちょうをかんとってふきましょう。	山のポルカ	5  6  7	●旋律の特徴や楽曲の構成を感じ取り、アの旋律を演奏する。  ●旋律やリズムの特徴を聴き取り、運指や音色に気を付けて演奏の仕方を工夫する。  ●旋律の特徴の違いや曲のまとまりを感じ取りながら演奏する。	◆範奏を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして、リコーダーを演奏している。 【技③ 演奏聴取】  ◆旋律やリズムの特徴を聴き取り、それらの違いを感じ取って、楽器の演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【創① 発言内容、ワークシート、演奏聴取】  ◆アとイの旋律の特徴やその違いを生かして、リコーダーを演奏している。 【技④ 演奏聴取】
せんりつの音の上がり下がりから曲の山をかんとって、のびのびと歌いましょう。階名でも歌ってみましょう。	◎ふじ山	8  9	●曲想をつかんで歌う。  ●旋律の音の上がり下がりに気を付けて曲の山を感じ取りながら、曲想にふさわしい歌い方を工夫する。  ●のびやかな響きのある声で歌う。	◆歌詞の内容、旋律の特徴などが生み出す曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 発言内容、行動観察】  ◆旋律の特徴を聴き取り、旋律とリズムのかかわりや曲の山を感じ取って、表現の仕方を工夫し、どのように歌うかについて自分の思いや意図をもっている。 【創② 発言内容、行動観察】 ◆曲の山を生かし、歌詞の内容、旋律の特徴などが生み出す曲想にふさわしい表現で歌っている。 【技⑤ 演奏聴取】

題材名	5. いろいろな音のひびきをかんとろう (11~12月)	扱い時数の目安
		9時間
題材のねらい	<p>●楽器の音の特徴や音色の違いを生かして、イメージに合う音を即興的に表現したり、反復などの音楽の仕組みを生かしてまとまりのある音楽をつくったりする。</p> <p>●楽器の音の特徴や音色の違いを感じ取りながら、互いの楽器の音を聴いて音を合わせて演奏したり、楽曲の構造に気を付けて聴いたりする。</p>	
題材の意図	<p>この題材では、低学年の題材「いろいろな音を楽しもう」の流れを受け継ぎ、音色を中心に音の重なりや音楽の仕組みとのかかわりを取り上げながら、表現と鑑賞の学習を進めます。</p> <p>これまでも音色をテーマに取り上げた学習として、主に身近な打楽器を用いて音色の違いを感じ取ったり、音の重ね方による響きの違いに気付いたりしながら、表現の仕方を工夫する活動を行ってきました。</p> <p>そうした学習経験を踏まえ、自分なりのイメージやアイデアを基に打楽器の音の響きやその組合せを試したり、それらの組合せや重ね方を工夫したりしながら、音楽の仕組みを生かした音楽づくりの学習を展開します。また、器楽の学習においては、互いの音を聴き合いながら重なり合う音の響きを味わい、鑑賞の学習においては、金管楽器の音色に着目しながら、それぞれの楽器の固有の音色の美しさも味わうようにします。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A 表現 (1) 歌唱イ (2) 器楽ア・ウ・エ (3) 音楽づくりア・イ</p> <p>B 鑑賞 ア・イ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) <b>音色</b>、リズム、旋律、<b>強弱</b>、音の重なり、拍の流れ</p> <p>(イ) <b>反復</b>、問いと答え、変化</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①歌詞が表す場面を思い浮かべ、それにふさわしい歌い方を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②楽器の音の特徴や音色を生かした即興的な表現に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③楽器の音色や拍の流れに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>④金管楽器の音色や旋律の特徴に興味・関心を持ち、旋律の反復や変化が生み出す楽曲の構造に気を付けて聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①歌詞の内容を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて、自分の考えや願いをもっている。</p> <p>②楽器の音色を聴き取り、その特徴を感じ取りながらいろいろな音の響きやその組合せを工夫し、どのように音楽をつくるかについて発想をもっている。</p> <p>③音色やその重なりを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取って楽器の音の組合せや重ね方、反復の仕方などを試行錯誤し、自分のイメージに合う「まほの音楽」をつくるための考えや願い、意図をもっている。</p> <p>④互いの楽器の音、音の重なりを聴き取り、音を合わせて演奏する表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の考えや願い、意図をもっている。</p>	<p>①音の重ね方や反復、変化などの音楽の仕組みを生かして、音を音楽に構成している。</p> <p>②楽器の音色に気を付けてリコーダーを演奏している。</p> <p>③友達の楽器の音やほかのパートの旋律を聴きながら、自分の音を合わせて合奏している。</p>	<p>①金管楽器の音色や旋律に気を付けて聴き、旋律の反復や変化が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
「まほうの音楽」を入れて歌いましょう。	おかしなすきな まほう使い	1	●歌詞が表す場面を思い浮かべながら歌う。	◆歌詞が表す場面を思い浮かべ、それにふさわしい歌い方を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 行動観察, 演奏聴取】 ◆歌詞の内容を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて、自分の考えや願いをもっている。 【創① 行動観察, 演奏聴取】
音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。	☆まほうの音楽	2  3  4	●いろいろな楽器を鳴らして、「まほうの音楽のもと」をつくる。  ●音の組合せや重ね方を工夫して、「まほうの音楽」をつくる。  ●グループの「まほうの音楽」を発表する。 ●つくった「まほうの音楽」を入れて、「おかしなすきな まほう使い」の音楽表現を楽しむ。	◆楽器の音の特徴や音色を生かした即興的な表現に進んで取り組もうとしている。 【関② 行動観察, 演奏聴取】 ◆楽器の音色を聴き取り、その特徴を感じ取りながらいろいろな音の響きやその組合せを工夫し、どのように音楽をつくるかについて発想をもっている。 【創② 行動観察, 発言内容, ワークシート】  ◆音色やその重なりを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取って楽器の音の組合せや重ね方、反復の仕方などを試行錯誤し、自分のイメージに合う「まほうの音楽」をつくるための考えや願い、意図をもっている。 【創③ 行動観察, 演奏聴取, ワークシート】  ◆音の重ね方や反復、変化などの音楽の仕組みを生かして、音を音楽に構成している。 【技① 演奏聴取】
重なり合う楽器の音のひびきをかんとりながら楽しもう。	パフ	5  6  7  8	●拍の流れにのり、音色に気を付けて主な旋律を演奏する。  ●拍の流れにのって、主な旋律と副次的な旋律を演奏する。  ●重なり合う楽器の音の響きに気を付けて、合奏を工夫する。  ●合奏の響きを互いに聴き合う。	◆楽器の音色に気を付けてリコーダーを演奏している。 【技② 演奏聴取】  ◆楽器の音色や拍の流れに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 行動観察, 演奏聴取】  ◆互いの楽器の音、音の重なりを聴き取り、音を合わせて演奏する表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の考えや願い、意図をもっている。 【創④ 演奏観察, 演奏聴取】  ◆友達の楽器の音やほかのパートの旋律を聴きながら、自分の音を合わせて合奏している。 【技③ 演奏聴取】
トランペットとホルンのひびきに親しみましょう。	♪トランペットふきの休日 ♪アレグロ	9	●トランペットとホルンの音色の違いに関心をもつ。  ●旋律の反復に気を付けて音楽を聴き、トランペットの音の特徴を感じ取る。 ●旋律の反復に気を付けて音楽を聴き、ホルンの音の特徴を感じ取る。  ●トランペットとホルンの音色を楽しんで聴く。	◆金管楽器の音色や旋律の特徴に興味・関心をもち、旋律の反復や変化が生み出す楽曲の構造に気を付けて聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関④ 発言内容, 行動観察】  ◆金管楽器の音色や旋律に気を付けて聴き、旋律の反復や変化が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて聴いている。 【鑑① 発言内容, ワークシート, 行動観察】

題材名	6. 日本の音楽に親しもう (1月)	扱い時数の目安
		4時間
題材のねらい	●日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、お囃子の音楽を聴いたり旋律をつくったりして、我が国や郷土に伝わる音楽に親しむ。	
題材の意図	<p>この題材では、音色に注目して郷土に伝わるお囃子を鑑賞し、古くから伝わる我が国の音楽に親しみながら、その雰囲気や特徴を感じ取ることができるように学習を進めていきます。また、この活動を通して感じたことや気付いたことを発表し合うことで、我が国や郷土に伝わる音楽のよさや特徴をあらためて見直します。</p> <p>教科書の巻末には、いろいろなお囃子を日本地図とともに取り上げた資料ページがあります。自分たちの住んでいる地域に伝わる音楽があれば、積極的にそれを取り上げるようにし、どんな音楽があるのか、どんな楽器を使っているのか、どんな特徴があるのかなど、みんなで発表し合いながら学習を展開して、郷土の音楽に一層慣れ親しむようにするとよいでしょう。</p> <p>また、ここで感じ取った我が国の音楽の雰囲気を生かしながら、この学年から学習し始めたリコーダーを用いて、お囃子の旋律をつくります。3年生で行うラ、ド、レの三つの音を使った旋律づくりの学習は、4年生では五つの音、5年生では日本の音階の音を使った旋律づくりの学習へとつながっていきます。</p>	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
	A表現 (3) 音楽づくりイ B鑑賞 ア・ウ 【共通事項】ア (ア) <b>音色</b> 、 <b>リズム</b> 、 <b>速度</b> 、 <b>旋律</b> 、 <b>拍の流れ</b> 、 <b>フレーズ</b> (イ) <b>反復</b> 、 <b>変化</b>	

※本題材の学習内容に関連する【共通事項】を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①お囃子で使われる楽器の音色に興味・関心を持ち、郷土に伝わる音楽がもつ曲想を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。  ②お囃子の旋律に興味・関心を持ち、ラ、ド、レの三つの音を使って旋律をつくる学習に進んで取り組もうとしている。	①旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出す面白さを感じ取って、ラ、ド、レの三つの音を使って旋律を工夫し、どのような旋律をつくるかについて自分の思いや意図をもっている。	①ラ、ド、レの三つの音を組み合わせて簡単な旋律をつくり、リコーダーで演奏している。	①お囃子で使われている楽器の音色やリズム、速度、旋律の特徴などを聴き取り、それらの働きが生み出す曲想を感じ取り、その違いを発表するなどして、郷土の音楽のよさを味わって聴いている。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
日本の楽器の音に親しみましょう。	♪神田囃子 ♪花輪ばやし ♪小倉祇園太鼓	1  2	●三つのお囃子の特徴を感じ取る。  ●郷土に伝わるお囃子や音楽に関心をもって鑑賞する。	◆お囃子で使われる楽器の音色に興味・関心をもち、郷土に伝わる音楽がもつ曲想を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 発言内容, 行動観察, ワークシート】  ◆お囃子で使われている楽器の音色やリズム, 速度, 旋律の特徴などを聴き取り, それらの働きが生み出す曲想を感じ取り, その違いを発表するなどして, 郷土の音楽のよさを味わって聴いている。 【鑑① 発言内容, ワークシート】
3つの音で, おはやしのせんりつをつくりましょう。	☆ラ 下 レの音でせんりつづくり	3  4	●拍の流れにのって, ラ, 下, レの三つの音でドレミ遊びをする。  ●三つの音でお囃子の旋律をつくる。  ●つくった旋律を使って, まとまりのある音楽をつくる。	◆お囃子の旋律に興味・関心をもち, ラ, 下, レの三つの音を使って旋律をつくる学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 演奏聴取】 ◆旋律やフレーズを聴き取り, それらの働きが生み出す面白さを感じ取って, ラ, 下, レの三つの音を使って旋律を工夫し, どのような旋律をつくるかについて自分の思いや意図をもっている。 【創① 演奏聴取, ワークシート】  ◆ラ, 下, レの三つの音を組み合わせて簡単な旋律をつくり, リコーダーで演奏している。 【技① 演奏聴取】

題材名	7. 音を合わせて楽しもう (2~3月)	扱い時数の目安
		7時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●旋律や音が重なり合う面白さに関心を持ち、互いの歌声や楽器の音を聴いて、声や音を合わせて演奏する。</li> <li>●旋律の重なりや強弱の変化を感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴く。</li> </ul>	
題材の意図	<p>3年生では、表現と鑑賞の様々な活動を通して、拍の流れやリズム、旋律、音色、音の重なりなどについて学習しながら、音楽的な感性や表現の技能、鑑賞の能力などを段階的に伸ばしてきました。3年生最後の本題材では、これまでの学習のまとめとして、全体の曲想を感じ取り、互いの歌声を聴き合いながら歌ったり、旋律や楽器の音が重なり合う面白さを味わって鑑賞したり合奏したりします。</p> <p>また、4年生へのステップアップとして、鑑賞を通して感じ取ったことや気付いたことなどを互いに発表し合い、音楽の楽しさや演奏のよさをより深く理解する能力を伸ばしていくようにします。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱エ (2) 器楽ア・イ・ウ・エ</p> <p>B鑑賞 イ・ウ</p> <p>〔共通事項〕ア(ア)音色、<b>旋律</b>、<b>強弱</b>、<b>音の重なり</b></p> <p>(イ)反復、変化</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①旋律の重なりに気を付けて聴き、そこから感じ取ったことや気付いたことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴に気付いて聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②友達の歌声を聴きながら、自分の声を合わせて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①互いのパートの音の重なりを聴き取り、旋律が重なる面白さを感じ取りながら、音を合わせる表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の考えや意図をもっている。</p>	<p>①友達の歌声や副次的な旋律を聴きながら、自分の声を合わせて歌っている。</p> <p>②範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりしてリコーダーを演奏している。</p> <p>③楽器の音色に気を付けてリコーダーを演奏している。</p> <p>④友達の楽器の音やほかのパートの旋律を聴きながら、自分の音を合わせて演奏している。</p>	<p>①旋律の重なりや強弱を聴き取り、それらの変化が生み出す楽曲の構造に気を付けて聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつが重なり合うおもしろさをかんじとりましょう。	歌おう 声高く ♪か ね	1   2  3	●旋律の重なりに気を付けて聴く。  ●楽曲の特徴をつかんで、反復する旋律を歌う。  ●旋律の流れを感じ取って主な旋律を歌う。 ●互いの旋律を聴き合いながら、二つの旋律を重ねて歌う。  ●楽曲の構成に気付き、旋律が重なる面白さを感じ取って聴く。	◆旋律の重なりに気を付けて聴き、そこから感じ取ったことや気付いたことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴に気付いて聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 表情観察，行動観察】 ◆友達の歌声を聴きながら、自分の声を合わせて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 発言内容，行動観察】  ◆友達の歌声や副次的な旋律を聴きながら、自分の声を合わせて歌っている。 【技① 演奏聴取】  ◆旋律の重なりや強弱を聴き取り、それらの変化が生み出す楽曲の構造に気を付けて聴いている。 【鑑① 発言内容，ワークシート】
合奏のゆたかなひびきを楽しみましょう。	エーデルワイス	4  5  6  7	●指導用 CD を聴いて、主な旋律の特徴をつかんで演奏する。  ●低音域の演奏の仕方に気を付けて、リコーダー 2 のパートを演奏する。  ●重なり合う音の響きに気を付けて、合奏を工夫する。  ●合奏の響きを互いに聴き合う。	◆範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりしてリコーダーを演奏している。 【技② 演奏聴取】  ◆楽器の音色に気を付けてリコーダーを演奏している。 【技③ 演奏聴取】  ◆互いのパートの音の重なりを聴き取り、旋律が重なる面白さを感じ取りながら、音を合わせる表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の考えや意図をもっている。 【創① 演奏観察，演奏聴取】  ◆友達の楽器の音やほかのパートの旋律を聴きながら、自分の音を合わせて演奏している。 【技④ 演奏聴取】